

<日時／場所>

令和 4 年 10 月 25 日（火）14 時 00 分～15 時 50 分／清水園 3 階「孔雀」

---

### 「1.開会」

#### さいたま市・清水市長

皆さんこんにちは、さいたま市長の清水勇人でございます。「第 8 回東日本連携・創生フォーラム」の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、各自治体をはじめ、関係機関の皆様方には、御多用の折、本フォーラムに御参加いただき、厚く御礼を申し上げます。

先月、新型コロナウイルス感染者の全数把握が見直され、全国に広がる自粛ムードが緩和されつつある中、今月 11 日には、全国旅行支援の開始、また、外国人の新規入国制限の見直しなど、人流促進に向けた政策が打ち出されております。

本市が大宮駅前に設置している東日本連携センター、まるまるひがしにほんでは、来場者数が順調に推移しており、12 月には来館者累計 300 万人を突破する見込みとなるなど、街中のにぎわいは徐々に回復しつつあり、他方、夜間の飲食店利用などは未だ低調で、コロナ以前の水準にはなかなか戻っていないと感じております。

このような中、自治体の垣根を越えて意見交換を進め、東日本全体で人の流れを作り出すことは、本市にとっても、同様の課題を抱える地域にとっても、解決策の 1 つになるのではないかと考えております。

本日の議題には広域周遊に向けた取組等も含まれておりますので、国内外のより多くの観光客に、東日本地域を目的地として選んでもらえるよう、議論を進めることができると考えております。また、本日は多くの自治体が一堂に会するまたとない機会でございます。人流促進に限らず、広範な行政課題について閣下に御議論いただき、何らかの気づきをそれぞれ地元還元していただくことが、最終的に、東日本地域の活性化、地方創生につながるものと考えております。

つきましては、皆様におかれましては、忌憚なく意見交換を重ねていただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### 「2.出席者挨拶」

#### 岩手町・吉田副町長

岩手県岩手町、副町長の吉田でございます。本日はよろしくお願いいたします。

岩手町は岩手県の県都盛岡市の北側に隣接しております、人口 1 万 2,000 人余りの町でございます。2020 年に SDGs 未来都市に選定されまして、様々な取組を進めておりますが、その大きな柱の 1 つとして、国内外の都市との交流・連携を掲げております。そうした取組を進める中で、さいたま市様との御縁を結ばせていただきました。今回の本フォーラムへの参加につきましても、さいたま市様からお声がけをいただいたものでございます。

また、先日は、さいたま市様の御協力の下、本町の SDGs の取組の紹介、町の情報発信を目的として、「岩手町×さいたま市 SDGs Tour」をまるまるひがしにほんで開催させていただきました。その節は本当にありがとうございました。このフォーラムを機会に参加都市の皆様とも連携ができればと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 札幌市・浅村部長

今年度より同じく東日本連携・創生フォーラムに参加をいたします、札幌市でございます。私はまちづくり政策局政策企画部長の浅村と申します。

現在、北海道新幹線の 2030 年度末までの札幌駅開業を目指しまして、新函館北斗から札幌間のルートについて工事が進められておまして、今回、さいたま市様から御提案、御助言を賜りまして本フォーラムに参加させていただくことになりました。また、本市も 2018 年に内閣府から SDGs 未来都市に選定されておまして、SDGs 推進の取組を行っているところでございます。また、2030 年冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の招致も目指しているところでございまして、観光促進や SDGs 推進にとどまらず、あらゆる分野で皆様と連携を深められましたら幸いです。

本年、札幌市は市制施行 100 年、政令指定都市移行 50 周年という節目の年を迎えております。このような機会に本フォーラムに仲間入りできますことを大変うれしく思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### **会津若松市・室井市長**

福島県会津若松市の市長の室井でございます。本日は第 8 回東日本連携・創生フォーラムにリアルで参加させていただいております。まるまるひがしにほんにおきましては、後ほど紹介させていただきますが、会津若松市も様々な展開をさせていただいております。清水市長から、東日本の活性化を目指す、人の流れをつくると、まさに地方にとって大事な視点をいただいております。今日も皆様方と有意義な情報交換をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### **盛岡市・藤澤副市長**

盛岡市の副市長の藤澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。盛岡市も姉妹都市や友好都市と交流・連携をしておりますけれども、こういった東日本の連携というのも重要なものだと思っておりますので、よろしくお祈りいたします。盛岡市は先ほどお話がありました岩手町さんから少し南にありますけれども、全国でも一番寒い地点がある、本州ではそういう土地柄になっておりまして、10 月に入ってから、盛岡市役所の裏は川が流れておりますが、そこをサケが遡上してきている、それから上空を白鳥が南下していくというような状況になっております。また、先週は、10 月 20 日から 3 日間、盛岡市でスポーツライミングのワールドカップが開催されまして、国内外から多くの皆様が訪れておりますし、今年は、これまでコロナ禍で開催できなかった祭り、イベント等が開催され、全国から多くの皆様がお出でになって、これからこういったことが大きく広がってくれればと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### **新潟市・上村部長**

新潟市の観光・国際交流部長の上村洋と申します。どうぞよろしくお願いいたします。まずもって皆様に御報告をさせていただきます。新潟市の中原市長ですが、この日曜日に 2 期目の当選を果たされました。これは当選翌日に登庁したときの喜びの顔でございます。引き続きよろしくお願いいたします。新潟市は現在、佐渡市さんと、それから JR 東日本と連携をいたしまして、秋の観光キャンペーンを実施中です。新潟・佐渡エリアは秋の魅力満載でございますので、この機会にぜひ多くの皆様からお越しいただければと思っております。こうした取組を、この東日本創生にもつなげていければと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

#### **金沢市・鳥倉局長**

金沢市経済局の鳥倉と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。先ほどもお話ございましたとおり、金沢の街も人流が徐々に戻ってきているかなと思っております。これから 1 年後には全国国民文化祭が石川県で開催されます。その半年後には北陸新幹線が敦賀まで延伸、こういった内外からのお客さんが訪れる大きな機会が到来することとなっております。この協議会のテーマでもございます広域周遊を皆さんのお力、それからさいたま市さんの御指導などもいただきながら、どんどん情報発信することを通じて、地域活性化の追い風にしていきたいと考えております。今ほど、新潟市さんからもパンフレットの御紹介がありました。金沢市も持ってまいりました。金沢といえばカニでございます。こういったものも準備しておりますので、皆さん、また今後ともよろしくお願いいたします。

#### **氷見市・林市長**

富山県氷見市長の林でございます。氷見市は富山県の北西、能登半島の付け根にありまして、11 月に入り寒くなると、富山湾の王者といわれます寒ブリ漁が盛んになる水産都市でございます。また、氷見市は本年、市制施行 70 周年の記念すべき年を迎えました。去る 10 月 8 日には施行 70 周年を記念した式典、並びに新たに建設いたしました氷見市芸術文化館の会館、合同記念式典を開催いたしまして、市制の節目を祝いますとともに、芸術文化の拠点施設が始動したところでございます。今後とも東日本の皆様と一緒に地方創生、地域の活性化に向けた取組を一層進めてまいりたいと思っております。本日はどうかよろしくお願いいたします。

### **福井市・東村市長**

こんにちは。福井市長の東村新一です。本日は東日本連携・創生フォーラムに参加させていただき感謝申し上げます。さて、いよいよ令和6年春に北陸新幹線福井開業となり、現在開業に向け、JR福井駅周辺では、民間主導による再開発事業のほか、恐竜王国福井を印象付ける恐竜モニュメントを更に増やすなど、皆様をお迎えする準備を進めているところです。また、本市には特別史跡、特別名勝、重要文化財の国の三重指定を受けた一乗谷朝倉氏遺跡や福井藩主松平家の別邸、養浩館庭園、風光明媚な越前海岸といった観光地があり、磨き上げやおもてなしの向上にも取り組んでおります。これら本市の魅力、イメージロゴ「福いいネ！」を旗印に積極的に発信してまいりますので、皆様もぜひ福井へお越しください。最後になりますが、当フォーラムの関係都市の皆様と連携した事業を展開することで、交流人口の拡大、地域活性化につながることを期待しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### **函館市・小林部長**

皆さんこんにちは。函館市経済部の小林でございます。本日はよろしくお願いいたします。まず、さいたま市様をはじめ東日本連携の各都市の皆様には、日頃お世話になっております。この場を借りてお礼を申し上げます。函館市につきましては、ご存じのとおり観光都市であります。新型コロナウイルス感染症の影響も少しずつ解けてきて、全国旅行支援も始まり、少しずつ観光客の姿が増えてきている状況でございます。皆様におかれましても、ぜひ一度、函館にお越しただいただければと思っております。一方で、インバウンドの回復がまだまだという中で、この北関東、東北に関しては、観光振興や物産展といったところで魅力のある地域だと感じておりますので、今後ともこの協議会の連携に期待しているところでございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### **福島市・小松室長**

皆様こんにちは。事務局の皆様、いつもお世話になっております。福島市観光交流推進室の小松と申します。何件かトピックスがあります。本市では今年度、4月末に道の駅を立ち上げ、相変わらずのにぎわいを見せております。こちらは面白い道の駅で、近くにエアレースの世界チャンピオン室屋義秀選手の練習場があるというような位置付けになっております。人流の話でいきますと、今月中旬ですけれども、LIVE AZUMA というところで福島市初の大規模な野外音楽フェスを開催しまして、2日間で2万人ほどの動員がございました。今後のトピックスでいきますと、私どもには東北唯一のJRA競馬場もございます。秋競馬が始まりますので、皆様ぜひおいでください。最後に、これも少し変わり種だと思うのですが、私どもの飯野町というところですが、そこにはUFOの里、UFOふれあい館というものがあまして、30周年記念でフェスティバルが11月中旬に行われます。当日は国際未確認飛行物体研究所の三上所長、「リング」等の映画を撮っている中田監督のトークショーなどもございますので、よろしくお願いいたします。以上です。

### **宇都宮市・三代課長**

宇都宮市観光交流課の三代と申します。いつもお世話になっております。宇都宮市におきましては、後ろにポスターがございましたけれども、先日、10月の14、15、16日にジャパンカップ・サイクルロードレースというイベントが行われました。国内外から多くのお客様、そして選手の方にお越しただいで、宇都宮市内が自転車一色で大変盛り上がったところでございます。コロナの影響で3年ぶりということもございましたが、同じく3年ぶりの開催ということで、この後、11月5、6日になりますけれども、宇都宮は餃子の街ということで、「宇都宮餃子祭り2022」の開催を予定しております。当日は餃子会加盟の多くの餃子店が一堂に会しまして、いろいろな味の餃子をお楽しみいただけるかと思っております。こちらにつきましても、3年ぶりということで多くのお客様にお越しただいけることを願っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### **那須塩原市・波多腰課長**

那須塩原市商工観光課の波多腰でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。本来であれば市長の参加を予定し

ていたところですが、申し訳ありませんが公務のため本日、代理ということで私が参加させていただきます。

那須塩原市におきましても、やはり人流がかなり戻ってきていて、これは全国旅行支援もありますし、今、紅葉の時期ということで那須塩原市の紅葉を見に来られる方がたくさんいらしております。それから、栃木県の場合は、今年、「いちご一会とちぎ国体」がございまして、10月上旬に那須塩原市においては5競技を開催させていただいており、たくさんの方をお迎えしたところですが、今週末も障害者スポーツ大会があって、引き続き来客が見込まれるところですし、那須塩原市においては、オランダの国際認証団体であるグリーン・ディスティネーションズが選ばれ、「世界の持続可能な観光地TOP100選」にも2年連続で選出させていただいております。

今後、インバウンドが弱かったところに向けて注力をしていきたいと思っているのですが、この東日本連携・創生フォーラムで交流のある各自治体様と情報交換しながら、引き続きたくさんの方に来ていただけるような都市を目指していきたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### **みなかみ町・宮崎副町長**

群馬県みなかみ町の宮崎でございます。みなかみ町ですけれども、ここ数日、非常に寒暖の差が大きくなっておりまして、山々が色づきはじめたというところがございます。また、全国旅行支援が始まったということもありまして、特に埼玉県あるいは東京都からのお客さんが増えていると実感しております。

本日は、東日本でつなぐSDGsについて等の発表をさせていただく予定でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### **三条市・森田室長**

三条市役所経済部営業戦略室長の森田と申します。本日、さいたま市様はじめ、東日本連携・創生フォーラム参加自治体の皆様、日頃より大変お世話になっております。

本年5月におきましては、「おおみや盆栽春祭り」と新潟三条市の特産品フェア」ということで、後ほど資料紹介もあるかと思いますが、当市の観光宣伝PRにまるまるひがしにほんの場を活用させていただきましたことを誠に感謝申し上げます。引き続き本フォーラムを活用しまして、当市の観光の魅力の発信に努めてまいりたいと思っておりますので、何とぞ御協力をよろしくお願いいたします。

#### **魚沼市・櫻井副市長**

皆さんこんにちは。人と四季がかがやく雪のくに、魚沼市副市長の櫻井雅人と申します。本日はよろしくお願いいたします。

魚沼市は、冬は2メートル以上の積雪がある日本有数の豪雪地帯ですが、長い冬を経た雪解け水こそが魚沼の美味しい食材を育てております。この美味しい食材を、まるまるひがしにほんに持ち寄り、今月の6日から10日までの5日間にわたり「うおぬま“素のチカラ”物産展」を開催いたしました。店内では精米したての新米、魚沼産コシヒカリや地酒、地場産野菜などを販売し、店頭では特産品であるユリの切り花を配布して、約2万人ものお客様に御来店いただき、本市をPRさせていただくことができました。この場をお借りして御礼を申し上げたいと思っております。

また、今月1日、平成23年の新潟・福島豪雨災害で甚大な被害を受けましたJR只見線が全線復旧いたしました。福島県の会津若松市と魚沼市を結ぶ只見線は、紅葉の美しい鉄道路線ベスト10で第1位、海外のSNSでも、世界で最もロマンチックな鉄道として取り上げられるなど、国内外で観光美が高く評価されているローカル線でございます。福島県と新潟県が長く待ち望んだ11年ぶりの運転再開は、東日本連携全体の周遊観光の促進や交流人口の拡大に大きく寄与するものだと考えております。

東日本連携・創生フォーラムの皆様方との連携を深め、地域の発展につなげてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### **南魚沼市・腰越部長**

皆様こんにちは。南魚沼市産業振興部長の腰越と申します。日頃より東日本連携の各自治体の皆様には大変お世話になっております。ありがとうございます。また、さいたま市さんにおかれましては、私ども南魚沼市が東日本連携・創生フォーラ

ムに参加以降、東京オリンピック埼玉会場での雪活用について大変御協力いただいております。残念ながら観客を動員しての開催はできなかったのですが、私どもには非常にいい経験となりました。大変ありがとうございます。

私ども南魚沼市ですが、隣の魚沼市さんと一緒に、米どころとしてようやく米の収穫が終わったところでございます。その米を使いまして、本年度も「南魚沼、本気丼キャンペーン」と、後ろに出ておりますけれども、南魚沼産のコシヒカリを使用した大盛りの丼を提供するキャンペーンを行っております

ちょうど今は紅葉の時期にも当たっております。秋の行楽シーズンでもありますので、ぜひ皆様、機会があったらお越しいただきたいと思っております。今後も観光振興、それから地域連携の振興に向けて、皆様と連携してまいりたいと思っております。本日はよろしくお願いたします。

#### **南砺市・大橋次長**

富山県の南砺市でございます。本日は、当市の田中市長が議会に出席しております、本フォーラムには参加ができません。私、ブランド戦略部の次長、大橋が代理で出席しております。よろしくお願いたします。日頃からさいたま市様をはじめ、東日本連携・創生フォーラム参加自治体の皆様には、連携して活動していただき深く感謝申し上げます。

改めてこの南砺市ですが、富山県の南西部に位置しております、西は石川県金沢市様、南は岐阜県白川村と隣接しているような地勢でございます。世界遺産に登録されている五箇山の合掌造り集落ですとか、ユネスコ無形文化遺産の城端曳山祭、それから日本遺産に登録されている井波の彫刻でありますとか、三つの遺産を抱えている自治体でございます。

最近のトピックスといたしましては、特にインバウンド戦略についてはこの2年間、コロナ禍の影響でプロモーション的な活動もなかなか行うことができていない状況の中で、この10月には、アメリカで開催されました、今年初めてとなるクラブトバレー連携自治体の皆様と共に参画しております、各自治体でフェアに商品の出展を希望する企業の皆様と共に、サンフランシスコのクラブトバレー、ポップアップストアにて販売や展示を行っております。

これでアメリカにおける市場調査等も行いまして、今後の販路拡大へとつなげるというような目的で実施をさせていただいております、10月1日から5日間にわたりまして、約4,000人の来場者、それから5,300ドルの売上があったとお伺いしております。

今後もこのような機会を捉え、そして様々なプラットフォームを活用させていただきながら、海外の販路の拡大、それから交流人口の増につながることを期待しているところでございます。今後とも皆様方にはよろしくお願したいと思っております。

#### **上田市・大矢部長**

長野県上田市、政策企画部長の大矢と申します。どうぞよろしくお願いたします。東日本連携に参加させていただき本当にありがとうございます。さいたま市様をはじめ関係各位の御尽力にも厚く感謝申し上げます。

上田市は、首都圏から北陸新幹線で約1時間30分、大宮駅からですと1時間ちょっとという位置にございます。観光資源はたくさんございますけれども、いかに新幹線のお客様に降りていただき、滞在いただくかということが課題であります。また晴天率も高く、四季を楽しむ暮らしができて、農産物も豊かで非常に住みやすいところと自負しております。こうした中で、関係人口づくりや移住促進にも力を入れております。

今後、参加されている自治体の皆様方との連携によって、お互いの交流人口の拡大や地域活性化につながっていけばいいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

### **「3.議題」**

#### **議題(1) 東日本でつなぐSDGsについて**

##### **さいたま市・清水市長**

はじめに、議題(1) 東日本でつなぐSDGsについて、こちらは、みなかみ町、会津若松市、さいたま市の合同提案とさせていただきます。みなかみ町様から順に御説明をいただきますので、まず、みなかみ町の宮崎副町長、よろしくお願いたします。

## **みなかみ町・宮崎副町長**

「東日本でつなぐ SDGs について」、はじめにみなかみ町から説明をさせていただきます。まず、「東日本でつなぐ宣言」ですが、令和 2 年 10 月 27 日の「第 6 回東日本連携・創生フォーラム」において、さいたま市とみなかみ町が発起人となり、「東日本でつなぐ SDGs 宣言」を行い、現状、16 都市の自治体から御賛同をいただいております。

宣言の内容につきましては、2030 アジェンダの達成に向け、ALL 東日本として SDGs の推進に取り組むこと、SDGs に係る普及啓発活動を行い、多様なステークホルダーと連携を行うこと、東日本各都市について、相互の取組を共有し、地域の課題解決を図ると共に、ヒト・モノ・情報の交流と発信を行い、地域の活性化を図ることとしております。

その後、さいたま市や金沢市とのフードドライブによる連携や、ポスターを活用した普及啓発活動などを連携都市間で行い、SDGs を推進してまいりました。

令和 3 年度においては、SDGs 宣言に賛同している 11 自治体が参加し、初めての担当者会議を開催いたしました。会議の中では、ステークホルダーとの連携、普及啓発方法など、各自治体の課題などを相互に共有し、優良事例などを紹介することにより、東日本全体で SDGs を推進していくことを確認いたしました。内閣府もオブザーバーとして参加し、今後、SDGs 未来都市への申請を検討している自治体への助言等もいただいております。会議では、SDGs 未来都市である郡山市から会津若松市に、先進事例の取組を共有することを目的に講師が派遣されるなど、自治体間の交流も始まっております。

## **会津若松市・室井市長**

続きまして会津若松市でございます。まず冒頭に、魚沼市の櫻井副市長さん、私は只見線の再開通に触れておりませんでした。内田市長さんによろしくお伝えください。ありがとうございます。すみません、番外でございます。

それでは説明させていただきます。みなかみ町、さいたま市の取組を受けて、令和 3 年 10 月 27 日の「第 7 回東日本連携・創生フォーラム」で、会津若松市から以下、5 つの提案をさせていただいた経過があります。

各都市のユニークな観光分野の SDGs、特に脱炭素化の取組事例を収集、それから脱炭素化に向けた「観光×公共交通」の取組、旅館・ホテル・観光関連施設における再生可能エネルギー利活用の取組、旅館・ホテル等のフードロス削減の取組、食育観光、植林を通じた観光の取組などがまず 1 点であります。

2 つ目は、視察会、WEB 発表会、民間事業者等の交流会の実施。3 つ目は、東日本 WEB サイト等への取組事例の先行掲載・PR。4 つ目は、各都市の取組事例を組み合わせた旅行商品化の検討。5 つ目は、ALL 東日本として取り組むアクションプランづくりの実施を提案させていただきました。

7 ページが、これらの提案を進めるにあたってはということであります。SDGs 視察ツアー、モニターツアー、SDGs 修学旅行、林間学校、新たな個人型旅行商品などのビジネスモデル化、SDGs への貢献を実感できる東日本シリーズツアーなど、この東日本の優位性をぜひ生かして、計画的かつ系統的に進めていくことが重要と考えております。

8 ページになります。これまで主に観光分野に特化した提案をさせていただきましたが、「東日本でつなぐ SDGs アクションプラン」については、観光を含めた様々な SDGs の取組を、さらに進化させていくべきものであると期待をしているところであります。会津若松市からは以上でございます。

## **さいたま市・清水市長**

続きまして、具体的なアクションプランの内容についてさいたま市から説明をさせていただきたいと思っております。アクションプランのコンセプトとしまして、3 つの「つなぐ」で実効性のある連携を行いたいと考えております。

まずアクション①、連携都市間の取組を「つなぐ」では、各都市で行われております取組事例を共有し、横展開することで、連携都市同士の SDGs を「つなぐ」ものとする。続きましてアクション②としまして、各地の次世代観光に「つなぐ」では、様々な取組を複数の都市で行い、東日本 WEB サイト等で共同発信することによって、各地の次世代型観光に「つなぐ」ものとする。そしてアクション③、連携都市間で SDGs の取組を行い、地方創生へ「つなぐ」では、観光、環境など関連する取組、また親和性の高い SDGs の取組を東日本連携都市間で行い、地方創生へ「つなぐ」ものとする。以上、3 つのアクションプランを考えております。

各アクションの具体的な説明を申し上げます。まずアクション①、連携都市間の取組を「つなぐ」としまして、各都市で行われている取組事例を共有し、横展開することで、連携都市同士の SDGs を「つなぐ」とさせていただきます。

主な具体例としましては、担当者会議等で課題を共有する、WEB 発表会の開催、連携都市間でイベント等を共有する、ま

た、視察会の開催などを考えており、連携都市間で SDGs に係るプラットフォーム等を設立したいと考えております。さらにメーリングリスト等を活用して、お互いの課題の共有等のもとより、イベント情報などを発信していきたいと考えております。

続きましてアクション②です。これは、各地の次世代観光に「つなぐ」としまして、様々な取組を複数の都市で行い、東日本 WEB サイトで共同発信することによって、各地域の次世代型観光に「つなぐ」ことを目的としております。

具体的な例としては、取組事例を東日本 WEB サイト等で発信し、観光客を誘致、また、民間事業者等の交流会の実施、まるまるひがしにほんを有効活用した複数自治体での合同出展、単一市町村のイベントブースを合同出展するなど、相乗効果を高める取組を展開していきたいと考えております。これらを踏まえまして、単一の PR から複数の市町村連携へつないでいくことが、アクション②のポイントとなっております。市町村連携の一例について、会津若松市様から御報告をいただきたいと思っております。

#### **会津若松市・室井市長**

会津地域で開催されたイベントについて御紹介させていただきます。中央の下の写真は磐梯山、それから天神浜周辺でございます。今年 7 月末、会津地域ならではの食や物産、アクティビティなど、様々な魅力を知っていただくプロモーションイベント「あいづサマースカイフェス 2022」を開催しました。

このイベントでは、参加者がサステナブル・ツーリズムの必要性を自分自身のこととして捉えるよう、間伐材や紙製容器など、環境に配慮した消耗品を使ったり、また、マイカーでなく公共交通を積極的に活用したり、さらには小盛りサイズメニューによるフードロス対策などを実施しまして、約 2,000 名の来場者に対し SDGs に関する PR を行うことができたと考えております。また、ちょうど太陽が猪苗代湖に沈む時間だったのでございましたので、それも堪能していただけたかと思っております。

なお、今後につきましては、互いに相乗効果を得られるよう、連携都市と協力し、様々な取組を PR してまいりたいと考えております。

#### **さいたま市・清水市長**

続きまして、さいたま市から、アクション②の具体的な取組として、e スポーツを活用した東日本連携について御説明したいと思っております。令和 4 年度はキックオフとして、まるまるひがしにほんを活用して 12 月 11 日に種目を eFootball として大会を開催いたします。内容は、e スポーツ大会だけではなく、パネルディスカッションや大会電力を電気自動車から給電するなど、SDGs に貢献するものを予定しており、詳細につきましては後日改めて発表したいと考えております。本事業は令和 5 年度以降も継続して実施していくことで、将来的には東日本地域の認知度向上、産業の成長・発展、ICT 人材の育成、雇用機会の創出へとつながる取組にしていく予定でございます。

続きまして、アクション③でございます。連携都市間で SDGs の取組を行い、地方創生へ「つなぐ」ものとしております。観光、環境など関連する取組、また親和性の高い SDGs の取組を東日本連携都市間で行い、地方創生へ「つなぐ」ことが、今回のアクションプランの最終形であると考えております。

具体的な取組としては、各都市の脱炭素の取組の共有・発信、東日本連携全体での脱炭素ドミノの促進、また、再生可能エネルギーの利活用等を通じた交流・地域活性化、市民・企業への啓発活動を考えております。最終的には、東日本連携ネットワークを通じた脱炭素×地方創生によって、ローカル SDGs の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

今までは「〇〇市－〇〇市」のような単一連携が多かったと思っておりますが、地域課題の真の解決には、単一自治体だけでは解決できない問題が多いと考えております。この問題に対しまして、連携各都市のユニークで様々な取組を、東日本連携ならではの顔の見える関係性によって実質的・多面的に共有することで、各都市の実情に合った SDGs の取組として横展開し、効果の高い地域 SDGs への発展を目指してまいります。

最終的には、環境、デジタル分野など、東日本連携、広域連携による特徴を生かした取組を行うことで、将来を担う子供たち、また、ミレニアル世代などに持続可能な都市を引き継いでいき、ひいては SDGs の取組を通じた次世代観光の実現につながっていくものと考えております。

今後のスケジュールについてですが、本フォーラムでアクションプランの合意をいただいた後に、着実に本アクションプランを実践してまいりたいと考えております。現在宣言をされていない自治体様には、ぜひ前向きに御検討いただき、東日本全体でこの SDGs を推進していければと思っております。以上、合同提案についての説明を終了させていただきます。

この議題につきまして御発言等ございましたら挙手を願います。それでは、盛岡市の藤澤副市長、お願いします。

#### **盛岡市・藤澤副市長**

SDGs への貢献、あるいは持続可能な観光、サステナブル・ツーリズムの推進というのは、今後一層求められるものと存じております。本市の場合、特に教育旅行、修学旅行についてですけれども、コロナ前よりも修学旅行生が増加しております。特に県内はもとより北海道、宮城県からの来訪が多く、修学旅行生の減少がない、あるいは増加しているというような状況です。

その中で、やはり修学旅行にもかなりいろいろなメニューといったものが求められるということで、今後、SDGs を取り入れた教育旅行の誘致、こういったものを連携都市の取組事例等を参考にさせていただきたいと思っております。

今、修学旅行生に、「まち歩き盛岡修学旅行パスポート」というものをお渡ししております。その中で、ちょっと見づらいののですが、それぞれのエリアごとに SDGs のロゴを入れて、こういったものを勉強できますよということで、SDGs に貢献できる修学旅行というのをやろうと企画しております。こういったものをさらに深めてまいりたいということで、各都市の取組等を参考にさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。以上でございます。

#### **さいたま市・清水市長**

それでは、本議題について取りまとめをさせていただきます。

「ALL 東日本で SDGs 推進に取り組む『東日本でつなぐ SDGs アクションプラン』を策定し、各都市で行われている取組事例の共有や、SDGs 普及に係る共同の情報発信、また都市間連携による SDGs 達成に向けた取組を実施していきます」という方針で本事業を進めさせていただきたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成の挙手あり)

ありがとうございます。それでは議題(1)は、先ほどのとおり取りまとめさせていただきたいと思っております。また、この宣言等に参加されていない自治体の方々も、できればぜひ御一緒に参加していただければありがたいと思っております。

### **議題(2) 「戦国の城」、「安らぎの景色」をテーマにした連携について**

#### **さいたま市・清水市長**

続きまして、議題(2) 「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマにした連携について、福井市の東村市長様から御説明をお願いしたいと思います。よろしく願います。

#### **福井市東村市長**

福井市からの提案議題の内容について説明させていただきます。本市が提案させていただくのは、「戦国の城」と「安らぎの景色」をテーマにした連携です。

事業の目的ですが、2024 年、令和 6 年の春、北陸新幹線の福井延伸により、東日本の新幹線ネットワークが拡充されます。また、全国旅行支援が始まるなど、国内での人の流れが一気に加速しており、今後、新幹線沿線自治体の観光地について全国から注目が集まることが期待されています。この好機に、それぞれの観光地を周遊する事業を行うことで、各沿線自治体の交流人口の拡大を目指すことが目的でございます。

今回の提案は、「戦国の城」と「安らぎの景色」というテーマでの観光周遊の事業でございます。戦国時代は茶の湯の文化が花開いたように、安らぎが求められた時代でもあります。対極的なイメージの「戦国」と「安らぎ」をテーマにすることで、幅広い層の方々の関心を得られると考えています。事業としては、観光地カードとして唯一全国展開しており人気の高い口ゲットカードを活用いたします。これを統一フォーマットとして、各自治体の観光地を紹介し、現地の観光施設などで配布します。カードコレクターの方は新たな収集のきっかけに、また、初めて手にされた方にも他の観光地へ周遊していただくきっかけになると思います。現在、さいたま市様やみなかみ町様など 6 つの自治体に参加の検討をさせていただいております。

今後のスケジュール案を御説明いたします。この事業は令和 5 年 10 月からの開始を目指しております。参加を検討いただいている自治体の皆様は、予算の準備などを進めていただいていることと思っておりますが、事業の実施に向けた御協力をお願いいたします。また、多くの自治体の皆様に御参加いただくことで周遊の効果が高まると考えております。事業開始後も随時、御参加いただくことができますので、御検討いただきますようお願いいたします。私からの説明は以上です。



#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。この議題につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、みなかみ町の宮崎副町長、お願いします。

#### **みなかみ町・宮崎副町長**

ただいま説明いただきましたが、戦国時代の城、それから安らぎの風景、そういったことで、各連携都市における戦国時代からの遺構や景勝地が、候補地としてさらに検討され、参加都市の増加が期待されるのではないかと考えております。みなかみ町としましても積極的に参加させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございます。続きまして、盛岡市の藤澤副市長、お願いします。

#### **盛岡市・藤澤副市長**

盛岡市では、戦国時代末期に築城が始まった盛岡城というのが市内の中心部で、市のシンボルとなっております。現在建物はないのですが、公園として市民に親しまれておりますが、その盛岡城跡の歴史的価値と文化的景観の保全の調和を図るために、令和4年度に盛岡城復元調査推進室という組織を新しく作りまして、歴史的建造物の復元を検討する根拠を、要は本丸、天守閣を造りたいということなのですが、そのための古文書、絵図面、古写真等歴史的な資料の探索を含めた調査・研究を行っております。

全国ニュースでも時折取り上げられたのですが、特に貴重な資料が出てくれば1,000万円の賞金を出すということになっております。盛岡の資料があるかどうか分かりませんが、もし先祖が盛岡出身の方で資料をお持ちの方がいらっしゃれば、1,000万円出ますので、ぜひよろしく願いしたいと思います。そういった歴史的な遺産を活用した各都市との連携の取組、これは重要だと思っておりますので、併せて検討・研究してまいりたいと思っております。よろしく願いいたします。

#### **さいたま市長・清水市長**

ありがとうございます。続きまして、金沢市の鳥倉局長、お願いします。

#### **金沢市・鳥倉局長**

金沢市、鳥倉でございます。ただいま御説明のございました提案ですが、北陸新幹線の延伸ということで、そういった中で機運醸成にも非常に大切な御提案かと思っております。また一方で、広域周遊といった観点からも、我々沿線都市としても大切な取組、企画ではなからうかと思っております。このことにつきましては、福井市さんをはじめ参加自治体の皆さんとも、どんなことに取り組んでいけるか勉強しながら進めてまいりたいと考えております。以上です。

#### **さいたま市長・清水市長**

それでは、本議題について取りまとめをさせていただきます。

「令和5年度中に、本事業参加都市において『戦国の城』と『安らぎの景色』をテーマとしたカードを製作し、目的地での配布を通じ、収集を目的とした観光客による周遊を促進します」という方針で本事業を進めさせていただきたいと思っておりますが、皆様いかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成の挙手あり)

ありがとうございます。それでは賛成ということでございますので、先ほど取りまとめさせていただきましたとおり、進めさせていただきます。

本日予定されております議題を全て終了させていただきます。

### **「4.報告事項」**

#### **報告事項(1) 広報紙連携について**

#### **さいたま市・清水市長**

続きまして、次第の「4 報告事項」に移らせていただきます。報告事項につきましては、昨年度のフォーラム以降行った連携事業について、各都市より御報告をいただきたいと思います。

はじめに、報告事項(1) 広報紙連携について、福井市の東村市長、お願いします。

#### **福井市・東村市長**

福井市から、昨年度のフォーラムにおいて提案した広報紙での連携について、報告させていただきます。

この事業は、北陸新幹線福井開業で高まる旅行ニーズを観光誘客へつなげるため、沿線自治体が連携して広報紙面に観光情報を相互に掲載するものです。今年度は会津若松市、宇都宮市、さいたま市、みなかみ町、南魚沼市、福井市の6市町で取り組んでいます。資料右下の写真は会津若松市の鶴ヶ城やグルメ情報を本市広報紙に掲載したもので、新幹線開業を待ち望む市民に対し、新たな情報の機会となりました。また、本市はこれからシーズンを迎える越前ガニの掲載を依頼しておりまして、沿線自治体が多くの方々にPRできるものと期待しております。

令和5年度からは、この事業に新たに上田市様にも参加いただくことになりました。この連携が継続することで、交流人口の増加や観光誘客に結びつけてまいりたいと思います。私からの説明は以上でございます。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本件につきまして御発言等ありましたら、挙手をお願いしたいと思います。それでは、南魚沼市の腰越部長、お願いします。

#### **南魚沼市・腰越部長**

ありがとうございます。この広報紙連携ですけれども、連携自治体の広報紙に当市で行われるイベントや情報を取り上げていただいております。これにつきましては、交流人口の拡大にかなり寄与していただいていると思いますので、連携都市の皆様への南魚沼市の認知度向上にもつながっております。ですので、これについてはやはり非常にいい取組だと思いますし、私どもの市民にとっても、皆様の自治体の情報がかなり得られ、近い存在になると思いますので、今後とも皆様にもまたこれを増やしていただいて、御協力いただければと思います。以上です。ありがとうございます。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本市では11月6日に3年ぶりに開催します「ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム」について、各都市の広報紙を活用させていただき、周知を行わせていただきました。令和5年度も引き続き広報紙連携に参加させていただきたいと思っております。

### **報告事項(2) 東日本ウェブプロモーションについて**

#### **さいたま市・清水市長**

続きまして、報告事項(2) 東日本ウェブプロモーションについて、さいたま市から報告いたします。

まず、基本情報でございますが、東日本ウェブプロモーションにつきましては、トピックス記事、連載記事、特集記事、公式Twitter、YouTube生配信の5つの項目を柱として事業を進めております。

令和3年度は、WEBサイトのページビュー等、全ての項目で目標を達成しており、東日本連携各都市のPRに大きく貢献しているものと考えております。

令和4年度も、WEBサイトやYouTube生配信等のウェブプロモーションを継続して実施しているほか、現在掲載中の「東日本連携デジタルガイドブック」を各都市の皆様にご確認いただき、修正したものに、さらに八戸市様、山形市様、福井市様を追加して掲載いたしました。また、「東日本連携マップ」には、新しく連携都市に加わった岩手町様の情報も追加しております。

令和5年度以降は、こちらのウェブプロモーションを持続可能な事業にするため、WEBサイト内での観光業界の広告掲載や東日本連携各都市からの負担金について、各都市からの御意見を参考に引き続き検討していきたいと考えております。

今年度のこれまでの実績でございますが、連載記事、特集記事では、皆様の御協力をいただき、多くの都市の情報を掲載いたしました。YouTube生配信では、本年度も既に2回配信しておりまして、6月の配信では、長野市様、那須塩原市様、福島市様に御出演いただき、9月の配信では、上田市様、宇都宮市様、盛岡市様に御出演いただきました。両配信とも3万回を超える再生回数となっており、各回ともに、視聴者の方々には各都市の魅力が伝わったと感じております。今後あと2回の配信を予定しておりますので、ぜひ御出演について御検討をいただければと思います。報告は以上でございます。

ありがとうございました。本件につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、南魚沼市の腰越部長、お願いします。

#### **南魚沼市・腰越部長**

こちらですけれども、WEB についてはかなりページビューがあって、非常にいい傾向かと思いましたが、それで Twitter の方を少し拝見させていただきましたが、Twitter についてはフォロワー数が直近で 2 万 3,000 人を超える状態になっています。非常にいい傾向だと思うのですが、1 投稿当たりの伸び率を拝見すると少し少ないと感じましたので、今後については、そちらの投稿に対してのコメント等、そういうものが伸びるような手立てを取っていただければと思います。そのように感じました。以上です。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございます。続きまして、盛岡市の藤澤副市長、お願いします。

#### **盛岡市・藤澤副市長**

ただいま御紹介いただきましたとおり、本年 9 月の第 5 回で本市が出演させていただきました、盛岡市の名物である三大麺、わんこそば、盛岡冷麺、じゃじゃ麺の紹介をさせていただき、これが 4 万回を超える再生回数だということで、多くの方に本市の魅力を PR できたということで有効なものだと思っております。ただ、費用負担の面で課題があるのかなと考えているところでございます。以上です。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございます。続きまして、福島市の小松室長、お願いします。

#### **福島市・小松室長**

先ほど清水市長から御紹介いただきました、25 ページにちょうど写真が載っておりますけれども、餃子の照井という餃子屋さんから生中継というところで、尺を 30 分ほどいただきまして、生中継中にもだいぶコメントをいただきました。本当にいい機会をいただいたと思っております。お店にも大分喜んでもらえたというところで、本当にありがとうございました。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございます。続きまして、宇都宮市の三代課長、お願いします。

#### **宇都宮市・三代課長**

宇都宮市でございます。私ども宇都宮市でも、9 月に YouTube の生配信に参加させていただきました。大変貴重な機会をいただきましてありがとうございました。今後も、やはり宇都宮市単体でやるよりも、他の自治体様と一緒にやらせていただいた方が非常に PR 効果が高いかと思っておりますので、ぜひまた機会がありましたら参加させていただきたいと思っております。今回は貴重な機会をいただきましてありがとうございました。以上でございます。

### **報告事項(3) 函館物産展の開催について**

#### **さいたま市・清水市長**

続きまして、報告事項(3) 函館物産展の開催について、函館市の小林部長、お願いします。

#### **函館市・小林部長**

それでは私から、函館物産展の開催につきまして御報告させていただきます。

昨年、令和 3 年 12 月に「まるまるひがしにほん」で「函館物産展 Vol.4」を開催させていただきました。ライブコマースによる水産加工食品の販売や、新幹線輸送による朝獲れ生鮮品の販売等のイベントを実施したところでございまして、函館市の食の魅力を存分に発信できたものと考えております。

当日は、大勢の方に訪れていただきまして、これまでと同様に売上も順調にありましたことから、実施した効果は非常に大きいと考えているところでございます。今後におきましても、まるまるひがしにほんを活用しながらプロモーションを実施していきたいと考えているほか、さらなる事業につきましても検討してまいりたいと考えているところでございます。私からは以上でございます。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本件につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

発表にもございましたけれども、ライブコマース、また、新幹線輸送につきましては、非常に面白い取組だと思っております。ぜひ各都市の皆様も御検討をいただければと思っております。

#### **報告事項(4) 会津地域食材の取引拡大に向けた取組及び伝統工芸品の PR について**

##### **さいたま市・清水市長**

続きまして、報告事項(4) 会津地域食材の取引拡大に向けた取組及び伝統工芸品の PR につきまして、会津若松市の室井市長、お願いします。

##### **会津若松市・室井市長**

本市では、会津地域の生産者とさいたま市の飲食店との取引拡大に向け、さいたま市の御協力の下、スライド左の「まんてん会津フェア」と、右の「食材試食会」、こちらは「クロックキッチン イン シーガル」というお店で開催させていただきました。

この取組を開始して今年で2年目でございますが、既に野菜、食肉、養殖業など一部の生産者とさいたま市の飲食店の間で、常時取引が成立しております。生産者の生産意欲を喚起するとともに、販路拡大にもつながっている取組でございます。

2つ目の取組として、酒、漆器、陶器をはじめとする会津地域の伝統工芸品をPRするイベント、「会津地のもん」を今年7月、まるまるひがしにほん、JR大宮駅を会場に開催させていただきました。今年は3日間で約1万1,500人の方に御来場いただき、多くの工芸品を御購入いただくなど、首都圏における工芸品の関心の高さを再認識させていただきました。また、直接的な消費者ニーズの把握にもつながる有意義な機会となっております。

本日御報告した2つの取組を契機に、今後もさいたま市様や当フォーラム加盟自治体の皆様との連携をさらに深めてまいりたいと考えております。私からは以上です。

##### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本件につきまして何か御発言等ございましたら、挙手をお願いしたいと思います。

さいたま市では飲食店とのネットワークづくりに力を入れておりまして、先ほど発表のありました飲食店向け試食会、あるいはフェアの開催等についても、本市は周知等に協力をさせていただいておりますので、ぜひ皆様にも御参考にしていただきたいと思っております。

#### **報告事項(5) 夏の味覚展・冬の味覚展の開催について**

##### **さいたま市・清水市長**

それでは続きまして、報告事項(5) 夏の味覚展・冬の味覚展の開催について、みなかみ町の宮崎副町長、お願いします。

##### **みなかみ町・宮崎副町長**

みなかみ町からまるまるひがしにほんを活用したシティプロモーション連携について説明をさせていただきます。

今年の7月9日、10日、土日でしたが、まるまるひがしにほんにおいて、「みなかみ夏の味覚展」を開催させていただきました。サクランボやブルーベリーなど旬のみなかみ産フルーツの販売と合わせて、コロナ収束を見据えた観光誘客を目的としたイベント等を開催しております。

また、昨年12月18日、19日、これも土日でしたが、「みなかみ冬の味覚展」を開催し、群馬県育成品種のリンゴや町のブランド認証シイタケの販売、きのこ汁の販売等々と併せ、飲むヨーグルトなどの試食会も実施させていただきました。

こちらは冬の味覚展の開催状況となります。リンゴや冬野菜を店頭に並べましたが、開店と同時にお客様が殺到し、午前中に品切れとなる盛況ぶりでした。また、2021年の献上米に選定された生産者による新米試食会も好評でありました。

夏冬ともに、来場者は2日間で約1万人ということで、それだけの集客があり、効果的なプロモーションが実施できたと感じております。今後も引き続き、東日本連携の枠組みを活用させていただき、シティプロモーション連携について力を注いでまいりたいと思っております。連携自治体様の御指導と御協力をお願いいたしまして、みなかみ町からの報告とさせていただきます。

##### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本件につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いします。

みなかみ町様には、まるまるひがしにほんを活用していただく際に、毎回試食に力を入れていただいております。それによってかなり売上が伸びるというようなことにもなっているようでございます。他の都市の皆様もぜひ御参考にしていただければと思います。

## **報告事項(6) ランニングイベントにおける連携について**

### **さいたま市・清水市長**

続きまして、報告事項(6) ランニングイベントにおける連携について、さいたま市から報告いたします。

こちらは、各都市のマラソン大会で、東日本連携ブースとして希望都市が出展し、観光 PR や物産の販売などを行い、知名度の向上や都市 PR に貢献するというものでございます。

令和4年1月15日、16日で開催された「さいたまランフェス」では、出展希望都市に会場にお越しいただき、出展いただきました。氷見市様、会津若松市様には、会場で物産の販売や観光 PR、体験イベントなどを、みなかみ町様には観光 PR や賞品の提供を、函館市様にはポスターやパンフレットによる観光 PR を行っていただきました。また、令和4年8月21日には、「第63回サロモン藤原湖マラソン」にさいたま市が出展させていただき、缶バッジの製作体験やお楽しみ抽選会、マラソン大会の PR などを行いました。両イベントとも、多くの方に各ブースにお越しいただき、喜んでいただける取組になったと思っております。

今後は、マラソン大会のみならず、各都市のお祭りやイベントでも、東日本連携共同 PR として取り組んでいきたいと思っております。報告は以上でございます。

本件につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、みなかみ町の宮崎副町長、お願いします。

### **みなかみ町・宮崎副町長**

先ほど御説明がありました「サロモン藤原湖マラソン」の当日ですけれども、さいたま市さんのブースに長い行列ができて、大会を大いに盛り上げていただきありがとうございました。今後も、参加自治体の皆様とスポーツイベント等で相互出展の機会を設けることで、各自治体のイベント周知や観光誘客につなげる、効果的なプロモーションが展開できるのではないかと期待しているところでございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。続きまして、盛岡市の藤澤副市長、お願いします。

### **盛岡市・藤澤副市長**

ランニングイベントということで、本市におきましても、毎年10月に「いわて盛岡シティマラソン」を開催しております。本年は一昨日10月23日に開催されました。先ほど御紹介いただきました盛岡城跡公園をスタート地点として、フルマラソンで4,200人ほど、全体で5,000人を超えるランナーが盛岡市内を駆け抜けました。そういったイベントの中で、やはりこういった「さいたまランフェス」の取組等も大いに参考になると思いますので、今後、参考にさせていただきたいと思っております。以上です。

### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。先ほども申し上げましたけれども、マラソン大会のみならず、さいたま市も桜の花を見ながらのウォーキング大会をやっておりますけれども、桜の時期は東日本で少しずつれたりもしていますので、そういったものの連携、あるいは宇都宮市さんもジャパンカップをやられていますが、さいたま市も、「ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム」であったり、各地域でも自転車のツーリズムなどをやられているようですので、ぜひそういったところの連携なども含めて検討していったらどうかと思っております。

## **報告(7) まるまるひがしにほんにおける事業の実施状況について**

### **さいたま市・清水市長**

続きまして、報告事項(7) まるまるひがしにほんにおける事業の実施状況について、さいたま市から報告いたします。

はじめに、まるまるひがしにほんの現在の実績でございます。令和3年度の年間来場者数は、約91万人となりました。昨

年、一昨年は、まん延防止等重点措置等の影響もございまして、直前で出店が中止になるなど、自治体様の御出店が叶わない時期もございましたが、施設の認知度が向上いたしまして、過去最高の来館者数となっております。令和4年度につきましては、9月末時点で約45万人、1日平均約2,900人という状況です。1日当たりの来館者数が伸びておりまして、今年度も90万人前後になる見込みではないかと考えております。

今年度は、三条市様、郡山市様、会津若松市様、みなかみ町様、福島市様、魚沼市様、新潟市様、岩手町様に、既にまるまるひがしにほんを御利用いただいております。ありがとうございます。

現在の予約状況については、おかげさまで年内の週末はほぼ予約で埋まっている状況です。年明けの予約も埋まりはじめておりますので、冬・春に向けたシティプロモーションを検討されている場合は、お早めに御相談いただければと思います。

次に、昨年度のフォーラム以降のまるまるひがしにほんの特徴的な活用事例を御紹介したいと思います。

まず、先ほど函館市様からも御報告がございましたが、昨年12月開催の「函館物産展」におきまして、新幹線輸送による新鮮なお刺身の販売を、ライブコマースを活用しながら実施していただきました。生産者と売り場をWEBでつないでライブコマースを行ったわけですが、大盛況でございました。

当施設では人と人をつなぐこともコンセプトとしております。コロナ禍にも対応できる必要な資材・機材も準備しておりますので、各都市の皆様におかれましても、ぜひ御検討いただければと思います。

また、本年7月2日には、気仙沼港で朝水揚げいたしましたカツオのタタキを、東北新幹線開業40周年記念号でまるまるひがしにほんに直送して、販売するという企画を実施いたしました。今回は一般のお客様だけでなく、市内の飲食店にも事前に周知をしまして、お店でメニューとして提供いただく取組も初めて実施させていただきました。

新幹線輸送につきましては、大宮駅前に立地している強みを生かして、朝取れの新鮮なお刺身の販売を行ったところ、埼玉県は海なし県ということもあってとても大きな反響をいただきました。市民や地域の飲食店から「新鮮でおいしかった」「また実施してほしい」という声を多くいただいております。

続きまして、文化・工芸品のプロモーション事例を御紹介したいと思います。

岩手県花巻市様が開催しました「いわて花巻観光物産フェア」では、まるまるひがしにほんの店頭におきまして、岩手県の無形民俗文化財でございます鹿踊（ししおどり）の披露がございました。また、北海道の平取町様が開催しました「北海道平取町のアイヌ文化と観光フェア」では、アイヌの工芸品を中心とした出展でございましたが、アイヌ工芸家の方が常駐して、来館者と積極的に交流されておりました。

両自治体は、出展に際しPRも上手に行ってくださいました。花巻市様は、在京人会に事前に周知をされたこともありまして、鹿踊を見に多くの方が来館されて、特産品の販売もとても好調でございました。また、平取町様については、アイヌ工芸家がSNSで情報発信して、それを漫画「ゴールデンカムイ」の作者がリツイートしたということで、想定を上回る来館者に訪れていただきました。お持ちいただいた特産品はほぼ完売という状況で、高額な工芸品も多数売れまして、平日、それから休日の施設の売上の記録を更新したところでございます。

いずれの事例も、特産品の販売と文化・伝統の披露、PRを上手に行った事例ということが言えると思います。特徴的な伝統文化をお持ちの自治体の方々におかれましては、参考になる事例ではないかと考えております。

次に、食材の販路拡大に係る取組を2つ御紹介したいと思います。

まず1つ目は「まるまるひがしにほんの店」についてでございます。

本市には、東日本の特産品をメニューとして取り扱い、また、東日本の特産品の消費拡大に努めるさいたま市内の飲食店を、「まるまるひがしにほんの店」として登録する制度がございます。令和2年度に制度を開始して以降、徐々に店舗数は増え、現在100店舗が登録されております。登録店舗に対しては、イベントの告知や出品予定の商品リストの情報提供を行っております。そして、商品リストを見て、農産物や特産品、お酒を買いに来館されるケースもございます。

各都市におきまして、さいたま市内の飲食店を対象に販路拡大に向けた事業を実施する場合、「まるまるひがしにほんの店」への周知や開催支援等、さいたま市でお手伝いできることがございますので、ぜひともお気軽に御相談いただければと思います。

2つ目は「東日本の食材商談会」についてでございます。

先ほど御紹介いたしました「まるまるひがしにほんの店」から、継続取引も見据えて、「東日本地域のおいしい食材をどんど

ん試してみたい」という声をいただいていることを踏まえまして、今年度は、市内の飲食、食品加工、卸売の事業者を対象に、試食等も兼ねた「東日本の食材商談会」を計7回、「まるまるひがしにほん」で開催しております。

8月から10月まで、既に3回開催をしておりますが、毎回多くの飲食事業者の皆様にご来場いただいております、成約につながるケースも増えております。日程及びテーマについては御覧のとおりですが、このテーマに加えまして、東日本連携各都市のイチオシの食材や販路拡大を検討している食材がございましたら、出展者として追加することが可能ですので、ぜひお気軽に御相談をいただければと思います。

まるまるひがしにほんに関する報告は以上でございます。

本件につきまして、御発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。それでは、福島市の小松室長、お願いします。

#### **福島市・小松室長**

先ほどお話がございました、スライドの37に掲載してございます、農政部所管のミス・ピーチと一緒に参加させていただきました。内容的には、冒頭申し上げました道の駅ふくしまと組んで、福島市農産物を使ったスイーツ、ふくしまスイーツ・プレミアムや、いかにんじん、ワイン、地酒、それからフルーツといったものを販売させていただきました。経験豊富なスタッフの方のアドバイス等で、陳列などをかなり効果的に実施できたというところで、結果、良いプロモーションにつながったと思っております。どうもありがとうございました。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。続きまして、宇都宮市の三代課長、お願いします。

#### **宇都宮市・三代課長**

私ども宇都宮市でも、昨年度、こちらのまるまるひがしにほんの活用を検討させていただきました。ただ、結果的にはコロナの影響等を踏まえまして、開催には至らなかったのですが、また今後、引き続き開催させていただきたいと考えております。その際には、宇都宮市単体というところも当然あるのかとは思っておりますが、例えばこの東日本連携の中で、他の自治体様と一緒にというようなことも、もし検討できればと思っておりますので、またその際はよろしくお願いたします。以上でございます。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。続きまして、氷見市の林市長、お願いします。

#### **氷見市・林市長**

来月11月18日から20日の3日間、氷見市が初めてまるまるひがしにほんに出展させていただきます。

日本三大手延べうどんといわれる氷見うどんや、イワシの粉末が入った氷見カレー、また、水産加工品としてブリジャーキーや、全日空の国際線ファーストクラスの機内食としても採用されたシシャモのみりん干し、農産加工品として本年2月に地理的表示（GI）保護制度に登録されました氷見稲積梅など、氷見ならではの特産品の販売を通して、氷見市の食の魅力を発信する予定としております。

3日間で約1万人の来館が見込まれるとのことですので、大変楽しみにしております。近隣にお越しの際は、ぜひお寄りいただければと思います。よろしくお願いたします。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。続きまして、盛岡市の藤澤副市長、お願いします。

#### **盛岡市・藤澤副市長**

まるまるひがしにほんでの観光PRや特産品の販売は非常に効果的であると考えておりまして、非常にありがたいと思っております。

本年12月15日から18日まで、本市を含む12市町で構成されている盛岡・八幡平広域観光推進協議会主催の「2022 モリハチ祭り」をまるまるひがしにほんで開催する予定としております。構成市町の魅力PRや特産品の販売を行う予定でありますので、ぜひとも多くの皆様にお出でいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。続きまして、金沢市の鳥倉局長、お願いします。

## 金沢市・鳥倉局長

今日は、お昼に大宮ナポリタンをいただきました。大変おいしゅうございました。その流れで、まるまるひがしにほんもち寄らせていただきました。本当に立地が良い場所でありまして、本当に多くの都市の物産も扱っているということで、利用実績が昨年最高を記録したと、数字でも裏付けされておりまして、認知度と発信力を、私も今日改めて実感したところでございます。

もう1つは、先ほど御報告がありました新幹線輸送の連携の可能性で、これは非常に参考になる部分があるのではないかと思いますし、商談会や試食会、こういった事例も教えていただきました。今後、首都圏向けの魅力発信や誘客プロモーションの方策の一環として、他都市の皆様方とどのように連携できるのか、この中で少し検討していきたいと考えました。以上でございます。

## さいたま市・清水市長

ぜひ日本海のおいしい魚介物をさいたま市に持ってきていただければありがたいと思います。ありがとうございます。

## 報告事項(8) 東日本連携推進協議会について

### さいたま市・清水市長

それでは続きまして、報告事項(8) 東日本連携推進協議会につきまして、代表幹事の株式会社高島屋大宮店長、阿部様から御報告をお願いしたいと思います。

### 東日本連携推進協議会・阿部代表幹事

それでは、報告事項(8) 東日本連携推進協議会の取組について、御説明させていただきたいと思っております。

まずはじめに、東日本連携推進協議会について御紹介させていただきます。我々は大宮駅周辺の大規模商業施設8社が連携して、民間が主体となって東日本連携を推進する組織であります。2016年の発足以降、今年で7年目となります。東日本各地域と連携を図りながら、地域全体の交流、あるいは回遊を促進することで、大宮の街のにぎわい、そこから経済効果につなげていくという好循環を生み出すことを目的に活動しております。

令和3年度の主な活動内容としましては、1つは協議会企業が共同で実施するプロモーション事業、もう1つは東日本に関連した催事がございますので、本日はそれらをポイントで御紹介させていただきます。

スライドにお載せしていますのは、共同プロモーション事業「大宮からの挑戦状」という謎解きイベントでございます。昨年度で4回目の開催となりましたけれども、謎解きをしながら大宮駅周辺の街歩きを楽しんでもらう、また、東日本地域のPRも同時に行うイベントでございます。

謎解きをクリアされた方には、抽選で東日本の名産品をプレゼントしております。昨年度は函館市様のお米や南砺市様の干し柿セットなどを御用意させていただきました。また、事前にさいたま市内の小・中学校等に告知をしていることもあって、小学生とその御家族を中心に、前回は上回る約2,800人に御参加をいただき、大変盛況なイベントとなりました。

次に、東日本に関連した催事でありまして「つながろう東日本応援フェア」について御紹介をさせていただきます。「東日本応援フェア」では、謎解きイベントの期間に合わせて、協議会の各店舗が東日本地域にちなんだ催事を開催しております。本日は各社、各店舗の取組をポイントで御説明させていただきます。

まず、大宮高島屋では「東日本グルメフェア」を開催いたしました。東日本各地から集めた旬の食材や地域を代表するグルメを店頭で御紹介するとともに、通信販売では掲載商品数を倍に増やして、様々な東日本の食を楽しんでいただくことができました。

そごう大宮店では、北海道、青森、岩手、山形の特産品を中心とした物産展、「東日本うまいものストリート」を新幹線カラーの装飾を施しながら、売り場を盛り上げて開催いたしました。

パレスホテル大宮では、ホテル内の各レストランにおいて、東日本各都市の名物や食材を使用した料理を提供する「ぐるっと東日本 in SAITAMA フェア」を開催いたしました。先ほど、会津若松市様から御説明がありました「まんてん会津フェア」にもホテル内の各レストランが参加して、会津地域の食材を使ったメニューも提供いたしました。

大宮駅西口の駅前ビル、大宮アルシェでは、青森県弘前市のりんご「サンふじ」の産地直送販売を、新幹線からも見える大型エキサイトビジョンを活用して、大体的にPRをしながら実施いたしました。



ハンズ大宮店では、温泉地を有する各都市様に御協力いただき、自宅でも東日本の温泉が楽しめる特集企画、「東日本の温泉を楽しもう！」を開催するとともに、各温泉地の観光リーフレットも設置して観光 PR を行いました。

マルイ大宮店では、SDGs をテーマとした普及啓発イベントを開催しました。さいたま市と同様に SDGs 未来都市である福島市様、郡山市様、みなかみ町様にも御協力いただき、各都市の取組を紹介するパネル展示を行いました。

最後に、今年度の取組でございますが、昨年度と同様、来月 1 日から 30 日までの 1 か月間で、先ほど紹介しました謎解きイベント「大宮からの挑戦状」の第 5 弾を開催いたします。また、それと連動する形で、各店舗で東日本をテーマにした「つながろう東日本応援フェア」を開催いたします。

今年度もこれらの取組を通じて東日本地域の皆様とのネットワークをより強固なものにして、東日本各地域の PR、あるいは地域間の交流、回遊を促進してまいりたいと考えております。引き続き皆様方の御理解、御協力をいただければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

#### **さいたま市・清水市長**

ありがとうございました。本件につきまして、何か御発言がありましたら挙手をお願いしたいと思います。

先日、私はパレスホテルへ行きましたが、東日本各都市のホテル等のシェフの皆さんがお越しになっていて、各地域の食材を、フルコース以上のコースで食させていただきました。大変美味しく、また、楽しいひと時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

協議会の皆様には、東日本を PR する取組を積極的に行っていただいておりますけれども、その中では、各都市の皆様にも御協力をいただくようなものもあるかと思っております。その際は、ぜひ各自治体の皆様にも御理解と御協力を賜れば思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### **「5.総評」**

#### **さいたま市・清水市長**

以上で、本日の議題・報告事項は全て終了いたしました。長時間にわたりまして誠にありがとうございました。本日の 2 つの議題を改めて確認させていただきたいと思っております。

まず、議題(1)につきましては、「ALL 東日本で SDGs 推進に取り組む『東日本でつなぐ SDGs アクションプラン』を策定し、各都市で行われている取組事例の共有や、SDGs 普及に係る共同の情報発信、都市間連携による SDGs 達成に向けた取組を実施していきます」という方針で事業を進めていくことについて、また、議題(2)につきましては、「令和 5 年度中に、本事業参加都市において『戦国の城』『安らぎの景色』をテーマとしたカードを製作し、目的地での配布を通じて、収集を目的とした観光客による周遊を促進します」という方針で事業を進めていくことについて、それぞれ御賛同いただきました。今後はこれらの方針に基づきまして、皆様と連携事業を実施していければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### **「6.閉会」**

#### **さいたま市・清水市長**

この東日本連携・創生フォーラムは、現在 28 の自治体に参加いただいておりますが、全員で一致してやるということもございませんけれども、各自治体の御事情や考え方も様々かと思っておりますので、各事業は、やれるところがそれぞれ協力してやっていくという形で、様々な事業に取り組ませていただいております。一緒にやることでその効果がより高まるということもあると思っておりますので、ぜひ、皆様からのいろいろな事業の御提案なども含めてお願いできればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

皆様には円滑な議事進行に御協力をいただきまして、おかげさまで議事が全て終了いたしました。また、活発な御意見をいただき、ありがとうございました。

(了)